



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月27日

上場会社名 株式会社 アトム

上場取引所 東名

コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 俊治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 太田 一義

TEL 052-857-5225

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	33,098	9.9	2,328	38.2	2,358	35.7	1,071	34.9
25年3月期第3四半期	30,103	5.1	1,685	16.9	1,738	3.7	794	△19.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,050百万円 (32.2%) 25年3月期第3四半期 791百万円 (△28.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	5.81	5.45
25年3月期第3四半期	4.35	4.03

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	34,061	14,546	42.7	51.92
25年3月期	29,150	11,716	40.2	39.48

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 14,546百万円 25年3月期 11,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	0.00	0.00	0.00	2.00	2.00
26年3月期	0.00	0.00	0.00		
26年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	45,306	11.6	2,872	16.5	2,850	12.7	973	5.6	5.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	183,136,621 株	25年3月期	168,469,955 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	469,182 株	25年3月期	468,312 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	173,494,583 株	25年3月期3Q	168,002,282 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における連結業績は、売上高は330億98百万円（前年同期比9.9%増）、営業利益は23億28百万円（同38.2%増）、経常利益は23億58百万円（同35.7%増）、四半期純利益10億71百万円（同34.9%増）となり、2期連続の増収並びに営業利益は2期連続、経常利益は3期連続及び四半期純利益の増益となり、各利益ともに第3四半期連結累計期間として過去最高を達成しました。

セグメント別にはレストラン事業が大幅な増収増益となっております。居酒屋事業は増収増益、エンターテインメント事業は減収増益となりました。

当連結累計期間において新規出店を13店舗、業態変更を11店舗、改装を7店舗行い、不採算店13店舗を閉鎖し、また、㈱アトム北海道を平成25年10月1日付で連結子会社化し、66店舗増加したため、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は457店舗（直営店439店舗、F C店18店舗）となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、当第3四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

<レストラン事業>

レストラン事業につきましては、平成25年10月1日付の㈱アトム北海道の連結子会社化により、「ラパウザ」を中心としたレストラン店舗が7店舗増加いたしました。

新規出店につきましては7店舗（「ステーキ宮」6店舗、「カルビ大将」1店舗）をオープンし、業態変更を9店舗（「にぎりの徳兵衛」から「ステーキ宮」へ2店舗、「韓の食卓」から「ステーキ宮」へ2店舗、「えちぜん」から「ステーキ宮」へ2店舗、「濱ふうふう」から「ステーキ宮」へ1店舗、「味のがんこ炎」から「ステーキ宮」へ1店舗、「バスク亭」から「ステーキ宮」へ1店舗）、改装を5店舗（「ステーキ宮」3店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗、「カルビ大将」1店舗）、不採算店6店舗（「カルビ大将」2店舗、「廻転アトムボーイ」1店舗、「ステーキ宮」1店舗、「M's ダイニング」1店舗、「にぎりの徳兵衛」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は230店舗となりました。

特に、ステーキ宮業態の店舗数は、当第3四半期連結会計期間末で100店舗となり、売上、利益共に大きく伸ばしました。

以上の結果、レストラン事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、196億87百万円となりました。

<居酒屋事業>

居酒屋事業につきましては、平成25年10月1日付の㈱アトム北海道の連結子会社化により、「いろはにほへと」を中心とした居酒屋店舗が59店舗増加いたしました。

新規出店につきましては5店舗（「いろはにほへと」3店舗、「寧々家」2店舗）をオープンし、業態変更を2店舗（「暖」から「寧々家」へ1店舗、「TAPA」から「いろはにほへと」へ1店舗）、不採算店3店舗（「轟真屋」1店舗、「暖や」1店舗、「NIJYU-MARU」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は176店舗となりました。

以上の結果、居酒屋事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、105億25百万円となりました。

<エンターテインメント事業>

エンターテインメント事業につきましては、新店1店舗（「時遊館」）を出店し、改装を2店舗（「時遊館」）、不採算店4店舗（「W i l l B e」3店舗、「時遊館」1店舗）の閉鎖を行い、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は33店舗となりました。

以上の結果、エンターテインメント事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、24億10百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、当第3四半期連結会計期間末の店舗数はF C店18店舗となりました。

以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は、4億75百万円となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ49億11百万円増加し、340億61百万円となりました。これは主に㈱アトム北海道が連結の範囲に含まれたことによる受入資産の増加によるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ20億81百万円増加し、195億14百万円となりました。これは主に㈱アトム北海道が連結の範囲に含まれたことによる受入負債の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて28億29百万円増加し、145億46百万円となりました。これは主に転換社債の株式転換による資本金及び資本剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は40億29百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億27百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は39億63百万円となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益(20億30百万円)及び減価償却費の計上(14億75百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は31億93百万円となりました。

これは主に有形固定資産の取得による支出(17億47百万円)及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出(13億65百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は2億42百万円となりました。

これは主に長期借入による収入(33億80百万円)、短期借入金の返済による支出(23億4百万円)及び長期借入金の返済による支出(18億34百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年8月19日に発表いたしました通期の連結業績予想の数値から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第3四半期連結累計期間において、㈱アトム北海道の株式を取得したことに伴い、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,502	4,029
売掛金	444	543
たな卸資産	275	504
その他	1,554	1,616
流動資産合計	5,776	6,693
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	9,339	12,013
土地	3,872	4,013
その他(純額)	2,467	2,826
有形固定資産合計	15,678	18,853
無形固定資産		
のれん	—	1,006
その他	162	139
無形固定資産合計	162	1,146
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,988	5,392
その他	2,655	2,084
貸倒引当金	△110	△108
投資その他の資産合計	7,532	7,367
固定資産合計	23,374	27,367
資産合計	29,150	34,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,204	3,047
1年内償還予定の転換社債	2,200	—
短期借入金	—	880
1年内返済予定の長期借入金	2,185	2,498
未払法人税等	340	142
引当金	331	283
その他	3,155	3,920
流動負債合計	10,416	10,773
固定負債		
長期借入金	3,749	4,980
引当金	3	—
資産除去債務	580	671
その他	2,684	3,088
固定負債合計	7,017	8,741
負債合計	17,433	19,514

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	4,073
資本剰余金	6,016	7,116
利益剰余金	2,880	3,531
自己株式	△188	△188
株主資本合計	11,682	14,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34	13
その他の包括利益累計額合計	34	13
純資産合計	11,716	14,546
負債純資産合計	29,150	34,061

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	30,103	33,098
売上原価	9,626	10,333
売上総利益	20,477	22,765
販売費及び一般管理費	18,791	20,436
営業利益	1,685	2,328
営業外収益		
不動産賃貸収入	362	351
貸倒引当金戻入額	27	2
その他	108	95
営業外収益合計	498	449
営業外費用		
支払利息	174	157
不動産賃貸原価	263	250
その他	8	12
営業外費用合計	445	419
経常利益	1,738	2,358
特別利益		
固定資産売却益	3	0
受取補償金	48	38
特別利益合計	52	38
特別損失		
固定資産除却損	220	199
減損損失	36	78
賃貸借契約解約損	11	24
投資有価証券評価損	1	0
その他	4	64
特別損失合計	274	366
税金等調整前四半期純利益	1,515	2,030
法人税、住民税及び事業税	216	267
法人税等調整額	505	691
法人税等合計	721	958
少数株主損益調整前四半期純利益	794	1,071
四半期純利益	794	1,071

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	794	1,071
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△21
繰延ヘッジ損益	2	—
その他の包括利益合計	△2	△21
四半期包括利益	791	1,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	791	1,050
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,515	2,030
減価償却費	1,318	1,475
のれん償却額	—	25
販売促進引当金の増減額(△は減少)	89	131
支払利息	174	157
固定資産除却損	220	199
減損損失	36	78
投資有価証券評価損益(△は益)	1	0
売上債権の増減額(△は増加)	△97	△51
たな卸資産の増減額(△は増加)	△166	△198
前払費用の増減額(△は増加)	△94	24
仕入債務の増減額(△は減少)	402	566
未払消費税等の増減額(△は減少)	107	△11
その他	△226	128
小計	3,281	4,556
利息及び配当金の受取額	16	15
利息の支払額	△187	△191
法人税等の支払額	△155	△416
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,954	3,963
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,802	△1,747
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,365
敷金及び保証金の差入による支出	△324	△277
敷金及び保証金の回収による収入	316	342
その他	△183	△145
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,993	△3,193
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,265	1,480
短期借入金の返済による支出	—	△2,304
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△505	△544
長期借入れによる収入	990	3,380
長期借入金の返済による支出	△2,575	△1,834
配当金の支払額	△250	△418
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,076	△242
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△115	527
現金及び現金同等物の期首残高	3,203	3,502
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,088	4,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年9月20日付で転換社債型新株予約権付社債22億円の株式転換が完了し、資本金及び資本準備金がそれぞれ11億円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において資本金が40億73百万円、資本剰余金が71億16百万円となっております。